

人 チーム 制度



次女誕生時に1年間の育休を取得。
育休をきっかけにワークもライフも充実し、
現在もカッコイイ大人になるため勉強中!

(株)長大 ^{こうさか あきひろ} 幸坂 聡洋 さん

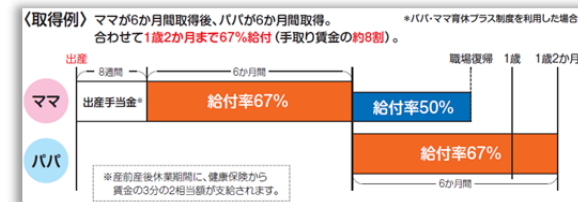
今回ご紹介するのは(株)長大で交通の仕事に携わる幸坂聡洋さん。2013年の次女誕生時に1年間と長期間の育休を取得され、現在、8歳と3歳の2人の娘さんを育てていらっしゃいます。

プロフィール

氏名 : 幸坂 聡洋 (46)
所属 : (株)長大 東日本道路事業部
勤続年数: 23年
資格 : 技術士(建設)・TOE など
居住地 : 埼玉県
家族構成: 妻(43) / 長女(8) / 次女(3)
勤務状況: 通常勤務(妻は時短)

育児休業を取得したきっかけは?

長女が生まれた時(2008年)は、家事育児はほぼ妻任せでした。しかし、収入は同程度なのに、妻だけが家事育児を全面的に負担するのは不公平だなあ、と考えていたところ、2010年の制度改正により、夫婦同時に育休取得できること、育児休業給付金が賃金の50%支給されることを知りました。(注:2014年より67%)そこで、一度は育児の大変さを経験しないと、何も語れないと思い、次女誕生時に1年間取得しました。(せっかくの長期休暇。ついでに、ふらっと一人旅にも行ってしまいました…)



(厚生労働省リーフレット No.11 育休取得の期間と給付の例 2014年6月)

取得する際に社内の調整など苦労はありましたか?

男性でも申請すると取得できる制度であり、上司からは特に何か言われることなく承認を頂きました。ただし、育休開始がちょうど年度末だったので、同僚には早めに取得予定の旨を伝え、業務完了に向け段取りと目処をつけ、育休に入りました。

育休を取得してみてよかったことはありますか?

1) 育休で接する時間を多くとれた甲斐があり、次女はパパっ子になりました。

- 2) 子は親を見本に育つことを実感、子を見て反省する日々でカッコイイ大人になれるよう勉強中です。
- 3) 育児の大変さが身に染みましましたので、仕事復帰後は以前より家事育児を分担するようになりました。(朝は僕の担当で5時半に起床、子供の食事と自分達の弁当を作り、長女を小学校に送り出してから出社しています。)
- 4) 仕事のやり方も変わり、段取りよく時間を効率的に使うように努め、極力早く帰宅するようになりました。おかげで一家団欒の時間が増え、WLB 満喫中です。



平日 家族でランドへ!

どうすれば建コン業界で男性の育休取得者が増えると思いますか?

まずは、誰でも取得でき経済的支援もあることなど制度を広く周知すること。次に勇気を持つこと。キャリアや社内評価が気になるとは思いますが、そこは思い切って!技術者1人抜けたところで、組織は問題なく機能します。



好き嫌いをなく食べてね...難しい!

建コン業界の男性社員にメッセージを!

もし御自身の関心や奥様の理解・要望があって育休を取得するのなら、できるだけ長期間の取得を薦めます。期間が短いと本当の育児を知ることができません。人口減少が加速し、子育て環境整備の重要性が増す中、これからは男性も育児について多少なりとも知る必要があるのではないのでしょうか。

チェック 改めて確認! 育児休業とはどんな制度?

- 子が1歳に達するまでの間(一定の場合には1歳6ヶ月)、子供を養育する労働者が取得できる法律によって認められた休業です
- 女性だけでなく当然男性も取得できます(妻が専業主婦の場合や育休中も!)
- 父母ともに取得する場合は1歳2ヶ月まで延長でき、職場復帰直後の大変な時期に両親が協力して子育てができます(パパ・ママ育休プラス)
- 母親の産後8週間以内に父親が取得した場合には、再度の取得ができます
- 雇用保険による「育児休業給付金」が休業開始時の67%(半年以降は50%)支給されます(非課税。社会保険料は免除)
- 就業時間が月80時間以下であれば育児休業給付金の対象となります